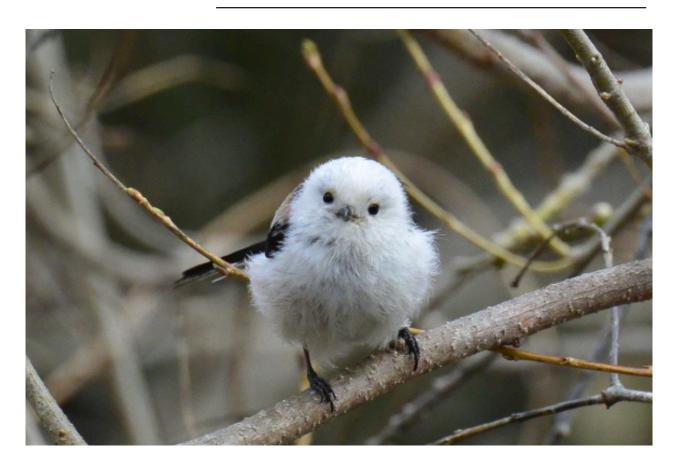
刑やちまなこ

2022.12.15 発行

No.301

12 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)だより



シマエナガ [Aegithalos caudatus caudatus]

塘路湖の自然界も、すっかり冬支度が進んでいる。 越冬するシマリスは姿を見なくなり、エゾリスは厳しい冬を前 に、カラマツの実を黙々と食べていた。

森の木々が枯葉を落として、林内に光が射し込むようになると、夏から秋には見つけることが難しかった小鳥たちが、集団で冬芽を啄ばんでいるのが目立つようになってくる。

エナガの北海道亜種であるシマエナガは、黒眉がない白い 可愛らしい姿から「雪の妖精」とも呼ばれている。



塘路フィールドノート【11/15~12/14】

【野鳥】

12月上旬、塘路湖の結氷にともなって、あっという間に水鳥たちが姿を消した。それに合わせるかのように、今季あまり姿を見なかったオオワシたちが、大空を舞っています。



オオワシ (塘路湖畔) 大空をゆくオオワシは、風格を感じさせる。 冬を代表する大型の猛禽類。タカ科。



シロハラゴジュウカラ(塘路湖畔) 樹の幹をキツツキのように垂直に登れる唯 一のカラ類。ゴジュウカラ科。



キタキバシリ (塘路湖畔) これも幹をキツツキのように垂直に登れる小 鳥。非常にすばしっこい。キバシリ科。



セグロセキレイ (塘路湖畔) 秋ごろからセンターの前でよく見掛ける。 他のセキレイより人の気配に敏感。



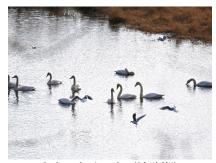
カワアイサ (塘路湖) 今年はまだそんなに多くない印象。塘路湖 結氷後は釧路川に移動した。カモ科。



ユリカモメ (塘路湖) 晩秋から個体数が増してきた。結氷後も流 入部に少数が集まっていた。カモメ科。



マガモ (塘路湖) エクリプスだった個体もすっかり換羽して、 雌雄がはっきりしてきました。カモ科。



オオハクチョウ (塘路湖) 11月は多くの個体が群れていたが、結氷後 は数羽が氷上で集まっているに過ぎない。



アオサギ (塘路湖) 結氷前はこの岬状の湿地でダイサギたちと 場所の争奪戦を繰り広げていました。

【植物】

落葉が終わり厳しい冬がくると、植物には中々目がいかなくなるものである。しかしよく観察すると、秋の名残を残すもの、来春の準備をしているものなど、植物たちの様々な冬の姿に静かな力を感じます。



ツルウメモドキ (蔓梅擬) 存在感のある赤と黄色の果実も、実を落と し疎らになってきた。



ヨシ(葦) 夏はあまり目立たないが冬は湿原を黄昏色 に染める。湿原泥炭を支える植物のひとつ。



ヤチダモ(谷地だも) 冬には楓のようなプロペラ状の種子をつけて、風に乗せより遠くへ種子を飛ばす。

◎塘路湖に厳しい冬到来

12月中旬になり、本格的に寒くなってきた塘路湖。今年の結氷は12月9日(金)でした。湖面が凍るという現象は、厳冬期に入ったことを身に染みて感じます。これから更に厳しい寒さとなりますが、皆様、水道凍結や体調管理には、くれぐれもお気をつけください。







○ 12 月の Xmas シーズンに向けて

11月26日は蔓植物(ツルウメモドキ・山葡萄)を巻いて作った台座に、自然素材や華やかなオーナメントを飾り付けてリースを作る Xmas に向けたイベントを開催しました。最初に選んでもらった台座に合わせ、各々が好みのオーナメントや自然素材を選んびました。

ドングリや松ぼっくりなどの自然素材は、スプレーによる着色やトリミングを施したのち、グルーガンを用いて台座に接着していきました。自分のイメージした仕上がりにするには、どのようにしたら良いかなど、講師のアドバイスを受けながら、細かな修正を加えて、皆さんイメージ通りのリースが完成したようです。

◎個性豊かなシマエナガのフィギュアを作りました

12月3日(土)は、紙粘土によるシマエナガフィギュアを作るイ ベントを開催しました。シマエナガフィギュアを作る工程は、粘 土の成型、乾燥、着色の順に進み、講師から紙粘土の扱い方や成 型する時のコツ、乾燥の度合い、色付けに関する注意点などにつ いてアドバイスが成されました。

今年度は自然素材(木の枝、ドングリ、ケヤマハンノキの実、 松ぼっくり他)を取り入れたことで、ドングリの帽子をかぶせた り、装飾として取り入れたり、参加された皆さん、それぞれに個 性豊かなシマエナガフィギュアを作り上げていました。

参加者 9名





1月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

連凧を作って揚げよう

[日 時] 1月7日(土)10時~12時 [定 員・参加料] 10名 100円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールーム

◎申込・問合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

湿原アニマルトラッキング

[日 時] 1月15日(日)10時~12時 [定 員・参加料] 10名 無料 [開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問合わせは温根内ビジターセンターまで (0154-65-2323)

◆日出・日入時間 11/15(6:13,15:59). 11/30(6:31,15:49).12/14(6:45,15:48)

~編集後記~

■サッカーW杯で日本代表の闘いは終わったが、 「折り鶴」を置いて去ったロッカールームは世界に 印象を与えた。「折り鶴」の歴史は室町時代までさ かのぼるという。江戸時代には縁起物として庶民の 間で流行した。北海道ゆかりの浜圭介が作曲、作詞 は安井かずみという異色コンビの昭和歌謡曲として も知られる。元々は小柳ルミ子のアルバムに収録さ れている曲だが、千葉紘子が唄うシングル「折り鶴」 がヒットした。50年前のことである。

※エコミュージアムセンターの「折り鶴」は自由に お持ち帰りください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

▼ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野 TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム torokoemc Q

開館時間:10:00~16:00

 $(4 \sim 10$ 月: 17:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日~1月3日

入館無料